



サイエンスカフェ

cience Café

サイエンスカフェとは？

(Science Cafe, Café Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンスカフェ』を開催しています。

第73回 サイエンスカフェ @九工大情報工学部

- 日 時：2024年 2月10日(土)
14:00～15:00
- 場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス
2201 講義室 飯塚市川津 680-4
オンラインも開催します。
- テーマ：「DNAを材料にしたモノづくり」
- ゲスト：佐藤 佑介 氏
(大学院情報工学研究院
知的システム工学研究系 准教授)
- 申込み：必要 (定員 対面20名 100名程度)

参加費用 **無料**

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電話：0948-29-7509 (平日10:00～17:00)

メール：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

Web：https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/pr/sciencecafe

一般の方々が科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に広がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。



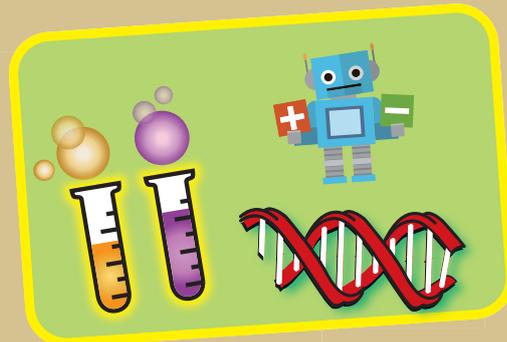
ゲスト紹介

さとう ゆうすけ
佐藤 佑介 氏大学院情報工学研究院
知的システム工学研究系
准教授

私たちの体を構成している細胞はDNAやタンパク質・脂質といった材料で作られています。では、細胞は誰かが材料を加工して組み立てたのでしょうか？

もちろんそうではなく、細胞を構成するDNAやタンパク質などの分子が勝手に組み上がることでできています。このような分子の性質を自己集合といいます。生命の遺伝情報を担うDNAは、ATGCという4つの塩基の並び順に従ってどのように自己集合するかを人の手でデザインすることができます。

今回は、DNAを工学的な材料として用いたモノづくりについて紹介します。



国立大学法人

九州工業大学

情報工学部

